

# — 御所・離宮 —

## 御所透かし



修学院離宮の御馬車道



御所や離宮の庭園では様々な樹木が植えられており、季節に応じた手入れがされています。御所や離宮の代表的な技法としては「大刈込」や「御所透かし」が挙げられます。(大刈込は[栞其二](#)で紹介)

一般的な手入れの技法で「透かし手入れ」というものがありますが、御所や離宮の庭園では透かし手入れの一種である「御所透かし」という技法を用います。

樹木は年々大きくなりますが、大きくなりすぎると庭の雰囲気になわなくなってくるため透かし手入れをおこない、樹形を整えると共に枝の伸長を抑制します。「御所透かし」という技法はこの透かし手入れを基本に、なるべく手入れ前後の景観に変化を与えず、自然な樹形となるようにし、個々の樹木が庭園全体に馴染むよう仕上げていくものです。



京都御所の御台所跡



ここでは、御所や離宮で樹木本数の多いアカマツとクロマツで説明します。

春季には混み合った枝を取り除くとともに、「みどりつ緑摘み」と呼ばれる作業をおこないます。新芽が4~5cmくらいに伸びると3cm以下になるように指で摘み取ります。この作業は新芽のやわらかい時期におこない、新芽を縮めることで一年の伸長量を抑制でき、枝が間延びすることを防ぎます。



緑摘み作業前



緑摘み作業後

秋季には、立ち枝(横に伸びず上方に伸びた枝)及び垂れ枝(横に伸びた枝から下方に伸びた枝)を切り除くとともに古葉を取り除きます。アカマツは振るえば簡単に古葉は落ちますが、クロマツは簡単には落ちないため一枝ずつむしり取ります。この時新葉にあまり手を加えないようにします。枝を切るときは外向きの小枝を残して切る「小芽止め」を心がけます。



作業前



作業後

御所透かしの手入れの特徴のひとつに「ふところ枝」を大切に育てるということがあります。「ふところ枝」は枝の幹に近いところから生えている小枝のことで、これを外側にある枝と同じような樹形に育てていきます。これは「枝の差しかえ」を可能にするため、ある程度ふところ枝が形になったら外側の枝を切り除きます。これで樹木全体がひとまわり小さくなり庭の大きさに合った樹形を維持することができます。



赤枠内の枝におけるふところ枝



作業前



作業後

樹木は寿命や病気で枯れることもありますが、真夏や真冬に枝を取りすぎると寒暖の影響で枯れてしまうことがあります。適期に正しい手入れをおこなうことが重要で、御所や離宮の作庭当時の庭の形状を保つために先人達の技法を継承し、日々の管理に励んでいます。

## 花ごよみ ～紅葉～

御所・離宮には多種多様な樹木や花々が植えられています。季節毎に可憐で美しい花を咲かせ、新緑や紅葉など、四季折々の違った表情を見ることができます。花ごよみのコーナーでは、そんな御所・離宮の美しさを織りなす樹木や花々を順次紹介していきたいと思えます。



京都仙洞御所 紅葉橋（中央）を望む 観

### ◆ 各所の紅葉

御所・離宮には秋を彩るイロハモミジやオオモミジが植えられています。特に、京都仙洞御所と桂離宮にはモミジが多数植えられている「紅葉山」があります。さらに、京都仙洞御所には北池と南池を結ぶ堀割に架けられた「紅葉橋」（[菜其の三](#)）と呼ばれる土橋があり、その名にたがわず非常に美しい紅葉が広がっています。その年の気候によって色づき始める時期や見頃に変化がありますが、例年11月下旬から12月上旬にかけて見頃を迎えます。また、見頃を迎えた紅葉だけではなく、木から散り敷いた紅葉も、自然の芸術作品として参観者の方々を楽しませています。



京都御所 御内庭 通



修学院離宮 浴龍池北西から千歳橋を望む 観



桂離宮 表門から御幸門を望む 観



紫宸殿前 左近の桜 平成27年（2015）4月2日撮影 通

## ◆ 桜

桜は古くから日本文化に馴染みの深い植物で、桜を詠んだ和歌が数多くあります。日本最古の歌集「万葉集」に桜を詠んだ歌があることから、時代を超えて日本人に愛されてきたことがわかります。

特に、京都御所では、紫宸殿前に植えられている「左近の桜」（[栞其の四](#)）がよく知られています。また、参内殿さんだいでんでは、孝明天皇がお花見をされたという記録も残っています。その他にも、京都仙洞御所の「桜の馬場」（4頁）や桂離宮しょういけんの笑意軒前、修学院離宮の上離宮よくりゆうちの浴龍池西浜などには多数植えられ、宮廷文化の中で重要な植物であることを感じ取ることができます。

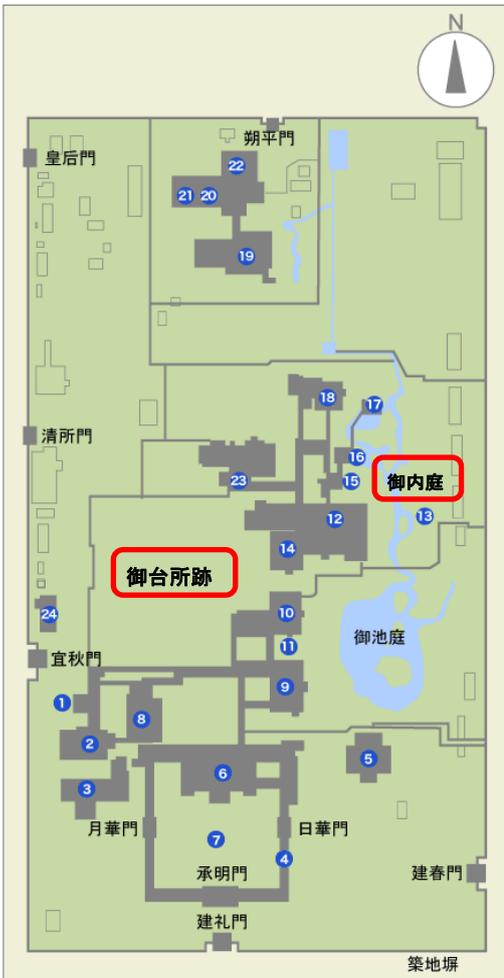


笑意軒前 平成30年（2018）3月28日撮影 観



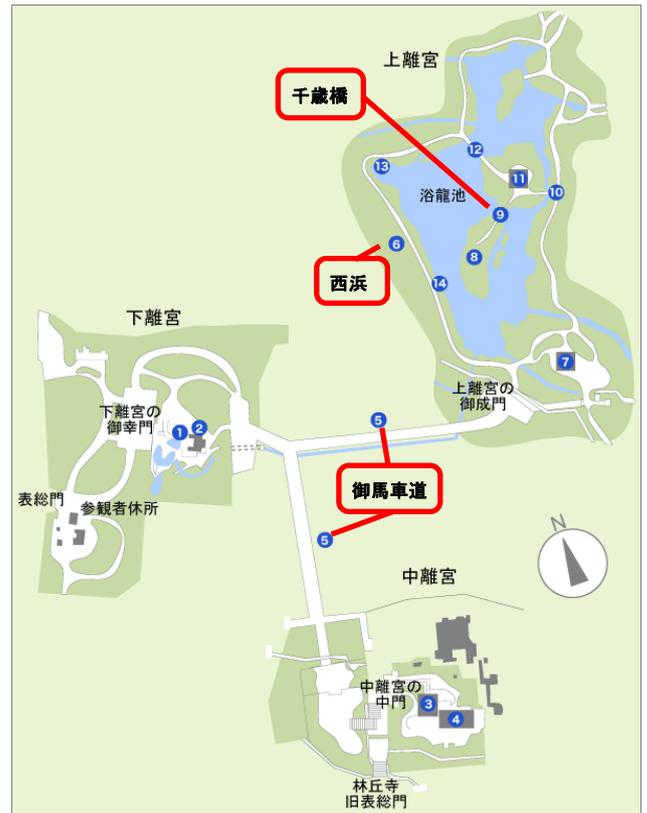
浴龍池西浜 平成30年（2018）3月30日撮影 観

# 京都御所案内図



- 1 御車寄
- 2 諸大夫の間
- 3 新御車寄
- 4 回廊
- 5 春興殿
- 6 紫宸殿
- 7 南庭
- 8 清凉殿
- 9 小御所
- 10 御学問所
- 11 蹴鞠の庭
- 12 御常御殿
- 13 御内庭
- 14 御三間
- 15 迎春
- 16 御涼所
- 17 聴雪
- 18 御花御殿
- 19 皇后宮常御殿
- 20 若宮御殿
- 21 姫宮御殿
- 22 飛香舎
- 23 参内殿
- 24 参観者休所

# 修学院離宮案内図



- |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|--------|
| 下離宮   | 中離宮   | 上離宮   |        |
| 1 御輿寄 | 3 楽只軒 | 6 大刈込 | 10 楓橋  |
| 2 寿月観 | 4 客殿  | 7 隣雲亭 | 11 窮達亭 |
|       | 5 松並木 | 8 万松塙 | 12 土橋  |
|       |       | 9 千歳橋 | 13 御舟着 |
|       |       |       | 14 西浜  |

# 京都仙洞御所・京都大宮御所案内図



- 1 京都大宮御所御車寄
- 2 京都大宮御所御常御殿南庭
- 3 御庭口
- 4 北池の舟着
- 5 阿古瀬淵と六枚橋
- 6 紀氏遺蹟の石碑
- 7 土橋
- 8 石橋
- 9 雌滝
- 10 紅葉橋
- 11 紅葉山
- 12 蘇鉄山
- 13 雄滝
- 14 土佐橋
- 15 ハツ橋
- 16 中島
- 17 醒花亭
- 18 洲浜
- 19 洲浜
- 20 又新亭の外腰掛
- 21 又新亭

# 桂離宮案内図



- 1 御幸道
- 2 外腰掛
- 3 蘇鉄山
- 4 洲浜
- 5 天の橋立
- 6 石橋
- 7 松琴亭
- 8 賞花亭
- 9 園林堂
- 10 笑意軒
- 11 月波楼
- 12 古書院
- 13 月見台
- 14 中書院
- 15 新御殿
- 16 住吉の松
- 17 桂垣
- 18 穂垣

観マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、 <http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

通マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、 <http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の栞」については、宮内庁ホームページの [こちら](#) からご覧ください。

<問い合わせ先>  
 〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所  
 代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215